

DX推進の 取り組み

推進状況

2025/08/08 発行

基本的な考え方
ビジネスの力で持続可能な社会を実現

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

リコーITソリューションズ株式会社
代表取締役 社長執行役員

野水 泰之

本文書は、[全社戦略とDX推進の実施事項](#)に対して、
2024年度の推進状況、ならびに、実施内容とその効果を報告するものである。

全社
戦略
1

自社の価値共創力を高め、リコーグループの事業成長に貢献する

DX

実施
事項

1. データ利活用によるマネジメント業務の迅速化と質向上を進める
2. データ利活用による開発業務の高効率化を進める

評価
指標

1. データを活用した人材アサイン
2. 開発業務の工数削減

全社
戦略
2

市場向け事業の取り組みを拡大し、強固な足場を確立する

DX

実施
事項

3. リコーグループで培った技術を活かして、市場向けビジネスを獲得する
4. 市場より得られたデジタルノウハウ・知識をビジネスへフィードバックし、ビジネス創造に貢献する

評価
指標

3. 市場ビジネス拡大
4. 新ビジネス創出数

全社
戦略
3

事業推進を最適に進める経営資源を整備する

DX

実施
事項

5. 人的リソースをリスキングにより強化し、全社におけるデジタル人材を増強する
6. データを経営に効率的に利活用するためのプロセスを確立する

評価
指標

5. DX認定資格者(ブロンズ/シルバー/ゴールド)
- 6.1 DXデータ活用BIの構築及びブラッシュアップ
- 6.2 社内DXによる業務工数削減

DX戦略が着実に進行し、既存事業の効率化と成長分野への経営資源シフトが進んでいる

全社
戦略
1

自社の価値共創力を高め、リコーグループの事業成長に貢献する

結果

1. データを活用した人材アサイン
⇒ **アサインプロセス適用プロジェクト : 100%**
2. 開発業務の工数削減
⇒ **工数削減率 : 計画比110%**

実施

1. アサインプロセスをツール化して全プロジェクトへ適用。
2. 開発プロセスを自動化。生成AIを活用。

効果

既存事業の高効率化による収益貢献、および成長事業への経営資源シフトが進んだ。

全社
戦略
2

市場向け事業の取り組みを拡大し、強固な足場を確立する

結果

3. 市場ビジネス拡大
⇒ **市場ビジネス売上比率 : 前年度比140%**
4. 新ビジネス創出数
⇒ **計画達成率 : 100% (4/4件)**

実施

3. 商談管理プロセスをデジタル化。
4. 新ビジネスをローンチ。
 - ・セキュリティ : 脆弱性診断サービス
 - ・コンサルティング : カスタマーサクセス支援サービス
 - ・AI : AI活用サービス
 - ・観光支援 : デジタルガイド作成/配信サービス

効果

デジタル知識のノウハウが蓄積され、市場向け事業が拡大、新ビジネスが創出できている。

全社
戦略
3

事業推進を最適に進める経営資源を整備する

結果

5. DX認定資格者 : ブロンズ/シルバー/ゴールド (社内資格)
⇒ **認定率(ブロンズ : 100%、シルバー/ゴールド : 193%)**
- 6.1 DXデータ活用BIの構築及びブラッシュアップ
⇒ **ブラッシュアップ進捗率 : 100%**
- 6.2 社内DXによる業務工数削減
⇒ **工数削減率 : 計画比100%**

実施

5. DX教育を完了し、認定試験を随時実施。
6. 業績および人材ポートフォリオの可視化とビューのブラッシュアップを実施。

効果

経営効率(業務効率、および経営判断)が向上した。

RICOH
imagine. change.